

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
8	笠井 浩（20）	<p>1. 富士川が高分子凝集剤に汚染されている実態と富士市民の安全について</p> <p>昨年11月定例会で、ニッケイ工業によって富士川上流の雨畑川に不法投棄された凝集剤入り汚泥の下流域への影響調査についてお伺いした。</p> <p>最近になって静岡新聞社と東京海洋大学の榎牧子研究室とが協力した実験で、雨畑川に不法投棄された汚泥と富士川中下流域で採取した泥に、同じアクリルアミドポリマー（以下、「AAP」という。）の混入が否定できないことが分かった。</p> <p>調査によるとニッケイ工業はAAP以外にもポリ塩化アルミニウム（以下、「PAC」という。）や魚毒性の強いポリアミンなども使用しており、不法投棄された可能性がある。</p> <p>東京海洋大学の佐藤駿佑博士によると高分子凝集剤によって集合された泥は水流によって遠くに拡散され、互いに吸着し合い、堆積し、河床に固着し、生態系を破壊するおそれがある。何も対策しなければAAPは紫外線分解で国際的に発がん性が認められているアクリルアミドモノマー（以下、「AM」という。）に変化する。富士川水系の各地を歩き、実際にこの目で泥の様子を見てきたが、非常に広範囲に泥が堆積し、生態系の破壊も広く及んでいる。不法投棄が行われてきた期間や量などを総合的に考えて富士川の河川環境は既に異様に壊滅的な状況だと述べている。</p> <p>富士川と鮎を愛する会の花田会長にお話を聞く機会があった。花田会長によると、アユがいる川では川底の石についての珪藻類をはんだ跡がつくが、今の富士川では全く見られない。四ヶ郷堰堤の魚道でも遡上が見られない。年5回、会員が中心になってアユ釣り大会を開催するが、全く釣れないので狩野川や興津川で開催することもある。他県の川に行くと、富士市には尺アユの釣れる富士川があるのもったいないと言われる、全国的にも有名な川なのに残念だとおっしゃっていた。</p> <p>一連の報道や調査結果があり、5月20日には長崎幸太郎山梨県知事が科学的、実地的な分析をして事実を確定し、責任ある行動を取ると表明、7月には専門家による有識者会議を立ち上げる予定である。川勝平太静岡県知事も本県を挙げて調査に協力すると述べた。</p> <p>こうした状況を踏まえ、以下質問する。</p> <p>(1) AAPの混入した汚泥が富士市内の富士川にも堆積していることが明らかになり、PAC、ポリアミンの混入も否定できなくなったが、</p> <p>① 富士市民の生活や健康への影響をどう考えるか。</p> <p>② 2月定例会での一般質問で富士川上水道に関してAAPに関する水質検査を継続して行うとの答弁があったが富士川上水道、富士上水道の安全性について。</p> <p>③ 松野地区や富士川地区では日本軽金属が発電に使って</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
8	笠井 浩（20）	<p>いる導水管の水を農業用水に利用しているが、その安全性について。</p> <p>④ 四ヶ郷用水の安全性について。</p> <p>(2) 富士市民の不安に応え、山梨県や静岡県調査結果をはじめ、生態系総合研究所、サクラエビ再生のための専門家による研究会、海洋研究開発機構、東京海洋大榎牧子研究室、産業ロボットメーカー I A I 等により様々な研究調査が行われているが、</p> <p>① その結果を迅速に把握し、富士市民の安全につなげるために、縦割り行政を超えた調査機関を立ち上げる必要があると考えるがいかがか。</p> <p>② 今回、AAPやAAM、PACやポリアミンの混入した汚泥が富士市内の富士川にも堆積している可能性があることが分かったが、このことが富士市民に与える可能性のある影響と、市民の不安に応えるためにはどのような調査が必要と考えるか。</p> <p>(3) 昨年11月定例会での私の一般質問に対し、魚種、魚影について環境面からアプローチする必要があると答えているが、</p> <p>① その後の進展について。</p> <p>② 毎年富士市では子供たちと一緒に稚アユを1万匹富士川に放流しており、放流したアユが健全に育ってほしいと思うがいかがか。</p> <p>(4) 東駿河湾工業用水道は日本軽金属が発電を終えた導水管の水を活用しているが、</p> <p>① その安全性について。</p> <p>② 本年2月に山梨県早川町と南部町が日本軽金属による取水を制限し、富士川に水を戻すよう県に意見書を提出したが、取水が減った場合の工業用水への影響について。</p> <p>③ 富士川の流量と富士海岸浸食の関係について。</p> <p>(5) 本年4月16日、衆議院環境委員会での富士川の環境汚染に関する源馬謙太郎議員の質問に対して小泉環境大臣は、静岡県や山梨県から要望や相談があれば、関係する自治体や国交省と連携して環境省としても適切な対応をしたいと答弁している。</p> <p>県に対し、富士川の汚染問題解決への支援を国に要望するよう働きかけることと、富士市も関係市町と協力して国に要望すべきと考えるがいかがか。</p>	市長 及び 担当部長